

1.	④	11.	①	21.	④	31.	①	41.	②
2.	④	12.	④	22.	①	32.	②	42.	④
3.	①	13.	②	23.	④	33.	①	43.	④
4.	④	14.	①	24.	④	34.	④	44.	④
5.	④	15.	③	25.	①	35.	③	45.	③
6.	①	16.	③	26.	④	36.	③	46.	③
7.	②	17.	①	27.	①	37.	④	47.	④
8.	③	18.	②	28.	③	38.	③	48.	③
9.	①	19.	②	29.	③	39.	③	49.	④
10.	①	20.	①	30.	②	40.	④	50.	④

1.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を通り抜ける、～を経験する」です。この熟語には、トンネルなどを物理的に「通り抜ける」という意味と、困難な出来事などを「経験する」という比喩的な意味があります。We had to go through a dark forest. (私たちは暗い森を通り抜けなければならなかった) のように使います。①は go around ～、②は go without ～、③は go over ～などが近い表現です。

◆補足：前置詞の through には「～を貫いて」という中心的なイメージがあります。このイメージを持つと、go through がトンネルの「中を通り抜ける」ことや、困難な体験の「中をくぐり抜ける」ことを表すのが理解しやすくなります。

2.

解答 ④

【解説】

正解は④「始まり、最初」です。「the beginning of the story」(物語の始まり)。①「終わり」は end で、反対語です。②は believing、③は building です。

◆補足：at the beginning of ～という表現は「～の初めに」を意味します。例：「at the beginning of the class」(授業の初めに)。

3.

解答 ①

【解説】

正解は①「ひも、糸」です。You need a pair of scissors to cut this string. (このひもを切るにははさみが必要です) のように使います。②「針」は needle、③「布」は cloth、④「紙」は paper です。

◆補足：ギターやバイオリンなどの弦楽器に使われる「弦」のことも string と呼びます。そのため、弦楽器だけで編成されるオーケストラは a string orchestra (弦楽オーケストラ) と言われます。

4.

解答 ④

【解説】

正解は④「巨大な、とても大きい」です。They live in a huge house. (彼らはとても大きな家に住んでいる) のように使います。他の選択肢は、①「とても重い」は very heavy、②「とても速い」は very fast、③「とても小さい」は tiny や very small が適切な表現です。

◆補足：huge の類義語には enormous や giant などがあり、いずれも「巨大な」という意味を表します。very big の代わりにこれらの単語を使えるようになると、表現がより豊かになりますよ。大きさの程度を伝えたい時に使い分けてみましょう。

5.

解答 ④

【解説】

正解は④の hit で、「～を打つ、たたく」という意味の動詞です。①hold は「～を持つ、つかむ」、②hide は「～を隠す」、③kick は「～を(足で) ける」という意味です。体のどの部分を使う動作かを考えると、区別しやすいでしょう。

◆補足：hit は不規則動詞で、現在形・過去形・過去分詞形がすべて同じ hit です。He hit a home run. が「彼はホームランを打つ」なのか「打った」なのかは、文脈で判断します。また、音楽や映画の「大ヒット」もこの hit から来ています。

6.

解答 ①

【解説】

正解は①「10 億」(1,000,000,000) です。billion は million (100 万) の 1,000 倍の数を表す単位です。他の選択肢は、②「1000」が thousand、③「100 万」が million、④「1 兆」が trillion となります。

◆補足：英語の大きな数の数え方は、thousand(千)→million(百万)→billion(十億)→trillion(兆)と、1,000 倍ごとに単位が変わっていきます。数字のコンマ (,) が 3 桁ごとにあるのに対応していると考ええると覚えやすいですよ。

7.

解答 ②

【解説】

正解は②の **communication** で、「意思の伝達、コミュニケーション」を意味します。他の選択肢を見てみましょう。①**conversation** は「会話」、③**presentation** は「発表」、④**information** は「情報」を意味し、これらはすべて **communication** の一部と考えることができます。

◆**補足**：**communication** の動詞形は **communicate** で、「意思を伝え合う、連絡を取り合う」という意味です。It is fun to communicate with people from different countries. (異なる国の人々とコミュニケーションをとるのは楽しいです) のように使います。

8.

解答 ③

【解説】

正解は③の **college** で、「大学」を指します。My sister is a college student. (私の姉は大学生です) のように使います。他の選択肢を見てみましょう。①**class** は「授業、クラス」、②**campus** は大学の「構内」、④**club** は「クラブ活動、部」のことで、いずれも大学に関連はありますが大学そのものではありません。

◆**補足**：**college** と似た単語に **university** があります。厳密には **university** が複数の学部を持つ総合大学、**college** が専門分野を教える単科大学などを指すことが多いですが、日常会話では **college** が広く「大学」の意味で使われることがよくあります。

9.

解答 ①

【解説】

正解は①「中心地へ、中心街で」です。副詞として「中心街へ（で）」、形容詞として「中心街の」という意味で使われます。I went downtown to buy some clothes. (服を買いに中心街へ行きました) のように使います。②は **in the countryside**、③は **overseas**、④は **downstairs** がそれぞれ近い意味の言葉です。

◆**補足**：**downtown** の便利な点は、**go downtown** (中心街へ行く) や **work downtown** (中心街で働く) のように、**to** や **in** などの前置詞をつけずに使えることです。これは **go home** (家に帰る) と同じような使い方ですね。

10.

解答 ①

【解説】

正解は①「おもしろい、おかしい」です。形容詞です。That comedy show was very funny. (あの面白い番組はとてもおもしろかった) のように使います。②「悲しい」は sad、③「退屈な」は boring、④「恐ろしい」は scary です。

◆補足：funny には「奇妙な、変な」という意味もあります。I heard a funny noise outside. (外で変な物音が聞こえた) のように、少し不思議に思った時にも使われます。また、interesting も「おもしろい」と訳しますが、こちらは「興味深い」という意味なので、funny との違いを理解しておきましょう。

11.

解答 ①

【解説】

正解は①「～と一緒に、～に加えて」です。along with ～は、誰かや何かと「一緒に」ということを表す群前置詞句です。with とほぼ同じ意味ですが、along が付くことで一体感が強調されることがあります。He came to the party along with his friends. (彼は友達と一緒にパーティーに来た) のように使います。②は without ～、③は instead of ～、④は in front of ～が適切な表現です。

◆補足：along を使った他の重要な熟語に get along with ～があります。これは「～と仲良くする、うまくやっていく」という意味で、I get along with my classmates. (私はクラスメートと仲が良い) のように使います。

12.

解答 ④

【解説】

正解は④「天井」です。ceiling は、部屋の内部の上側の面、つまり「天井」を指します。The ceiling in this room is very high. (この部屋の天井はとても高い) のように使います。他の選択肢は、①「地下室」は basement、②「屋根裏」は attic、③「玄関」は entrance がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：前の問題の roof (屋根) との違いが重要です。roof は建物の外側にあり、ceiling は建物の内側にあります。雨が降った時に濡れるのが roof、部屋の中から照明が吊るされているのが ceiling、とイメージすると分かりやすいでしょう。

13.

解答 ②

【解説】

正解は②の hall で、コンサートや集会などが開かれる場所を指します。例えば The concert will be held at the city hall. (そのコンサートは市の会館で開かれます) のように使います。他の選択肢は、

①stadium は野球などのための大規模な「競技場」、③gym は「体育館」、④dome は「ドーム（球場）」を指し、それぞれ特定の用途を持つ建物を表します。

◆補足：hall という単語は、大きな建物の「ホール」以外に、家の中の「玄関」や「廊下（hallway）」を指すこともあります。例えば、Please leave your wet umbrella in the hall.（濡れた傘は玄関に置いておいてください）のように、文脈によって意味が変わるので覚えておきましょう。

14.

解答 ①

【解説】

正解は①「A と B の間に」です。between A and B は、2 つの物や場所、時間の「間」にあることを示す前置詞句です。例えば I sat between my mother and my father.（私は母と父の間に座った）のように使います。②「A と B の両方」は both A and B、③「A と B のどちらか」は either A or B、④「A と B の周りに」は around A and B がそれぞれ適切な表現です。

◆補足：2 つのものの間には between を使いますが、3 つ以上のものに「囲まれている」状態を表す時は among という単語を使うのが一般的です。例えば The little house stands among tall trees.（その小さな家は高い木々の間に立っている）のように使います。between と among の違いを覚えておくとう便利です。

15.

解答 ③

【解説】

正解は③「～より多い、～以上」です。more than ～は数や量が基準よりも大きいことを示す比較の表現です。more が「より多くの」という意味なので、more than 10 は「10 より多い」を意味し、つまり 10 を含まない 11 以上の数を表します。例えば It costs more than 1,000 yen.（それは 1000 円以上します）のように使います。①は just や exactly、②は most of ～、④「～より少ない」は less than ～がそれぞれ近い表現です。

◆補足：反対に「～より少ない、～未満」と言いたい時は less than ～を使います。例えば、The test will take less than an hour.（テストは 1 時間未満で終わるでしょう）のように表現できます。more than と less than はセットで覚えておくとう、大小を比較するのにとても便利です。

16.

解答 ③

【解説】

正解は③の shout です。Don't shout in the library. (図書館で叫んではいけません) のように使います。①speak は「話す」、②sing は「歌う」、④say は「言う」という意味で、声の大きさのニュアンスは含まれません。

◆補足：shout at ～で「～に怒鳴る」、shout to ～で「～に大声で呼びかける」というように、後ろに続く前置詞によって少しニュアンスが変わります。He shouted at me. (彼は私に怒鳴った) と He shouted to me. (彼は私に大声で呼びかけた) の違いをイメージできると良いですね。

17.

解答 ①

【解説】

正解は①「謝肉祭、カーニバル」です。carnival は、華やかなパレードや仮装、音楽で知られるお祭りのことで、特にキリスト教文化圏で復活祭の前に行われるものを指すことが多いです。日本語の「カーニバル」と同じ感覚で使えます。②「収穫祭」は harvest festival、③「学園祭」は school festival、④「展覧会」は exhibition が適切な単語です。

◆補足：世界で最も有名なカーニバルの一つに、ブラジルのリオデジャネイロで開かれる the Rio Carnival があります。carnival という言葉は、より一般的に「移動遊園地」や「縁日」を指して使われることもあります。

18.

解答 ②

【解説】

正解は②の native で、形容詞です。a native speaker は「母語話者」、native plants は「その土地原産の植物」を指します。他の選択肢を見てみましょう。①natural は「自然の」、③national は「国の、国民の」、④new は「新しい」という意味です。

◆補足：native は My native country is Japan. (私の母国は日本です) のように使います。また、名詞として「その土地で生まれた人」という意味で使われることもあります。

19.

解答 ②

【解説】

正解は②の stick です。The old man was walking with a stick. (その老人はつえをついて歩いていた) のように使います。他の選択肢を見てみましょう。①stone は「石」、③string は「ひも」、④block は「かたまり、ブロック」という意味です。

◆補足：動詞としての stick は「～を突き刺す」や「～を貼り付ける」という意味で使われます。日本語で言う「シール」のことは英語で sticker と言いますが、これは stick（貼り付く）するもの、という関係から来ています。

20.

解答 ①

【解説】

正解は①「声援を送る、元気づける」です。Many people gathered to cheer for the runners.（多くの人がランナーに声援を送るために集まった）のように使います。②「祈る」は pray、③「泣く」は cry、④「不平を言う」は complain がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：cheer から派生した言葉に cheerful（元気な、陽気な）という形容詞や、cheerleader（チアリーダー）などがあります。また、乾杯の時の掛け声として使われる Cheers! は、イギリスなどでは「ありがとう」や「じゃあね」といった軽い挨拶としても使われます。

21.

解答 ④

【解説】

正解は④「伝統的な」で、形容詞です。New Year's Day is a traditional holiday in Japan.（元日は日本の伝統的な祝日です）のように使います。①は international、②は personal、③「現代的な」は modern で、traditional の対義語にあたります。

◆補足：この単語は、名詞の tradition（伝統）に -al がついて形容詞になった形です。このように、単語の成り立ちを知ると、語彙を効率的に増やすことができます。tradition（名詞）と traditional（形容詞）をセットで覚えましょう。

22.

解答 ①

【解説】

正解は①「thousands of」です。「There are thousands of books in this library.」（この図書館には何千もの本があります）。②a thousand はちょうど 1,000、③ten thousand は 10,000、④the thousandth は序数詞で、1000 番目を意味します。

◆補足：特定の数字 + 単数単位（five thousand）と、不特定の複数単位 + of（thousands of）のパターンを覚えておきましょう。

23.

解答 ④

【解説】

正解は④「簡単な、単純な」です。The rules of this game are very simple. (このゲームのルールはとても簡単です) のように使います。①「難しい」は difficult、②「複雑な」は complex で、これらは simple の反対の意味を持つ言葉です。③「正しい」は correct です。

◆補足：simple の副詞形は simply で、「単に、簡単に」という意味になります。I simply followed his advice. (私は単に彼のアドバイスに従っただけだ)。名詞形は simplicity (単純さ、簡素) です。

24.

解答 ④

【解説】

正解は④の doll で、「人形」を意味します。My little sister got a new doll for her birthday. (私の妹は誕生日に新しい人形をもらった) のように使います。他の選択肢は、①ball が「ボール」、②robot が「ロボット」、③game が「ゲーム」と、いずれも遊び道具ですが意味が異なります。

◆補足：日本の「ひな人形」は英語で Hina dolls と説明できます。また、操り人形は puppet と言います。このように、「人形」にもいろいろな種類があるので、興味があったら調べてみると面白いですよ。

25.

解答 ①

【解説】

正解は①「parade」です。「I watched the parade on TV.」(私はテレビでパレードを見ました)。②「paradise」は楽園、③「present」はプレゼント、④「program」は番組です。

◆補足：parade は procession (行列) の一種です。

26.

解答 ④

【解説】

正解は④の habit です。It is a good habit to read a book every day. (毎日読書をするのは良い習慣だ) のように使います。他の選択肢を見てみましょう。①hobby は「趣味」、②rule は「規則」、③custom は社会や文化の「風習」を意味し、個人に根付いた行動である habit とは区別されます。

◆補足：a good habit（良い習慣）と a bad habit（悪い習慣）という組み合わせでよく使われます。
「～する癖がある」は have a habit of -ing という形で表現できます。He has a habit of saying “you know”.（彼には「あのね」と言う癖がある）。

27.

解答 ①

【解説】

正解は①の guest で、「(招待された) 客」や「(ホテルの) 宿泊客」を意味します。パーティーなどに招かれた人のことを指す言葉です。他の選択肢を見てみましょう。②host は guest をもてなす側の「主人、主催者」で、反対の意味になります。③member は「一員、メンバー」で、④customer は店で商品などを買う「顧客」を指すため、招かれた客とはニュアンスが異なります。

◆補足：guest を招く側の人を host (ホスト) と言います。また、guest が泊まる部屋のことを guest room (客間) と呼びます。家に誰かを招待する時や、ホテルに泊まる時など、日常の様々な場面で使える単語です。

28.

解答 ③

【解説】

正解は③の fan で、「ファン、愛好家」を意味します。I am a big fan of that singer. (私はその歌手の大ファンです) のように言います。他の選択肢を見てみましょう。①friend は「友達」、②fool は「愚か者」、④staff は「職員、スタッフ」という意味です。

◆補足：fan には「扇風機」や「うちわ」という、全く別の意味もあります。It's hot today. Let's use the fan. (今日は暑いね。扇風機を使おう) のように使います。応援する人なのか、涼しくする道具なのかは、文脈で判断しましょう。

29.

解答 ③

【解説】

正解は③の tradition で、「伝統」や「しきたり」を意味します。古くから受け継がれてきた慣習や行事、考え方などを指す言葉です。他の選択肢を見てみましょう。①history は「歴史」、②rule は「規則」、④treasure は「宝物」という意味です。history (歴史) と似ていますが、tradition は今も続いている慣習というニュアンスが強いのが特徴です。

◆補足：tradition の形容詞形は traditional で、「伝統的な」という意味です。kimono (着物) は traditional Japanese clothing (日本の伝統的な衣装) と説明できますし、お正月におせちを食べるのは a traditional custom (伝統的な習慣) の一つです。

30.

解答 ②

【解説】

正解は②の「バーベキュー」です。しばしば BBQ と略して書かれます。他の選択肢も屋外での活動ですが、①「ピクニック」は picnic、③「キャンプ」は camping、④「花火」は firework という別の単語があります。

◆補足：barbecue は動詞として使うこともでき、「～をバーベキューで焼く」という意味になります。例えば、My father barbecued some steaks for us. (父は私たちのためにステーキをバーベキューで焼いてくれました) のように言うことができます。

31.

解答 ①

【解説】

正解は①「キャプテン、主将」です。captain は、スポーツチームをまとめる「主将」のほか、船の「船長」や飛行機の「機長」を指す言葉として使われます。He was chosen as the captain of the baseball team. (彼はその野球チームのキャプテンに選ばれた) のように使います。②「コーチ」は coach、③「選手」は player、④「審判」はサッカーなどでは referee、野球などでは umpire が適切な単語です。

◆補足：leader も captain も集団の長を指しますが、captain は特にスポーツのチームや乗り物の責任者という、より限定された場面で使われることが多いのが特徴です。

32.

解答 ②

【解説】

正解は②の shadow です。他の選択肢を見てみましょう。①shape は「形」、③shade は「日陰」、④light は「光」です。shade も「かげ」ですが、こちらは日光が直接当たらない涼しい場所「日陰」を指すので、shadow とは区別して覚えましょう。

◆補足：shadow は動詞としても使われ、「～の影を落とす」や「～に（こっそり）つきまとう」という意味になります。また、日本では「影絵」と言いますが、英語では shadow play (シャドープレイ) のように表現します。

33.

解答 ①

【解説】

正解は①「～するのを楽しむ」です。動詞 **enjoy** は「～を楽しむ」という意味で、その後ろに動作を表す言葉を続けるときは、必ず動詞の-ing 形（動名詞）を使います。これがとても大切なルールです。I enjoy watching movies.（私は映画を観ることを楽しみます）のように使います。②は **be good at doing**、③は **come to like doing**、④は **finish doing** などが適切な表現です。

◆補足：enjoy の他に、finish（終える）、stop（やめる）、practice（練習する）なども、後ろに動名詞（-ing 形）をとる動詞の仲間です。これらの動詞が出てきたら、後ろの形に注意する癖をつけましょう。

34.

解答 ④

【解説】

正解は④「～をノックする」です。knock on ～は、部屋に入る前などにドアをコンコンと「たたく」動作を表す熟語です。I heard someone knocking on the window.（誰かが窓をノックしているのが聞こえた）のように使います。knock だけでも使えますが、on を伴うのが一般的です。①は depend on ～、②は laugh at ～、③は look for ～がそれぞれ適切な表現です。

◆補足：knock down で「(建物などを) 取り壊す」や「(人を) 打ち倒す」、knock over で「～をひっくり返す」など、knock を使った熟語は他にもあります。余裕があれば覚えておくと表現の幅が広がります。

35.

解答 ③

【解説】

正解は③「host」です。例えば、「Which city will host the next Olympic Games?」（次のオリンピックはどの都市が主催しますか?）。④hold も似ていますが、host は主催者が施設を提供する役割を強調します。①は post、②は cost です。

◆補足：名詞として、host はパーティーやイベントに客を招く人（主催者）を意味します。ホームステイ中に滞在する家族は host family です。

36.

解答 ③

【解説】

正解は「けいこを受ける」を意味する③の take lessons です。take には「(レッスンなどを) 受ける、学ぶ」という意味があり、ピアノや水泳などの習い事について話すときによく使われます。①teach lessons は「レッスンを教える」という逆の意味、②make a class は「クラスを作る」、④have classes

は「授業がある」という意味になり、学習者が主体的に「受ける」というニュアンスとは少し異なります。

◆補足：take を使った表現はたくさんあります。例えば、take a picture（写真を撮る）、take a walk（散歩する）、take a bath（お風呂に入る）など、日常的によく使う便利な表現が多いので、ぜひ覚えておきましょう。

37.

解答 ④

【解説】

正解は④の slowly で、「ゆっくりと」という意味の副詞です。Please speak more slowly.（もっとゆっくり話してください）のように、動詞の動作の様子を説明する際に使います。他の選択肢を見てみましょう。①low は「低い、低く」、②lately は「最近」、③slow は「(速度が) 遅い」という意味の形容詞です。形容詞の slow と副詞の slowly の形と使い方の違いをしっかりと理解しておきましょう。

◆補足：多くの形容詞は、語尾に -ly を付けることで「～に、～な様子で」という意味の副詞になります。例えば、quick（速い）→quickly（速く）、careful（注意深い）→carefully（注意深く）、sad（悲しい）→sadly（悲しそうに）など、たくさんの例があります。このルールを覚えておくと便利です。

38.

解答 ③

【解説】

正解は③「それぞれ、めいめい」です。Each の後には単数形の名詞が続くのが基本ルールです（例：each child）。Each of the students has a dictionary.（生徒たちはそれぞれ辞書を持っています）のように使います。①「すべて」は all または every、②「いくつか」は some、④「ほとんど」は most が適切な単語です。

◆補足：each other は「お互いに」という意味で非常によく使われる熟語です。My brother and I often help each other.（兄と私はよくお互いに助け合います）のように、二人またはそれ以上の人々が同じことをし合う状況を表します。

39.

解答 ③

【解説】

正解は③の have fun です。fun は「楽しみ、面白いこと」を意味する名詞で、have と組み合わせることで「楽しい時を持つ」となります。We had fun at the beach.（私たちはビーチで楽しく過ごした）のように使います。①は「休憩する」、②は「風邪をひいている」、④は「夢を見る、夢がある」という意味です。

◆補足：旅行やイベントに出かける人に対して、別れ際に **Have fun!**（楽しんでね！）と声をかけるのは、とても自然で温かい英語表現です。覚えておくと様々な場面で使えて便利です。

40.

解答 ④

【解説】

正解は④の **take part in** ～で、「～に参加する」という意味の熟語です。他の選択肢を見てみましょう。①**take care of** ～は「～の世話をする」、②**take place in** ～は「～で起こる、開催される」、③**take away from** ～は「～から持ち去る」という意味の全く異なる表現です。

◆補足：「～に参加する」という意味の動詞には **join** もあります。**take part in** は **join** に比べて、より積極的にその活動に関わるというニュアンスが含まれることがあります。**I took part in the speech contest.**（私はスピーチコンテストに参加した）。

41.

解答 ②

【解説】

正解は②「アジア」です。**Asia** は、日本や中国、インドなど多くの国が含まれる大陸の名前です。国名や大陸名のような固有名詞は、文の途中に出てきても、必ず最初の文字を大文字で書くルールがあります。①「アフリカ」は **Africa**、③「ヨーロッパ」は **Europe**、④「アメリカ」は **America** です。主要な大陸の名前は英語で書けるようにしておきましょう。

◆補足：「アジアの」または「アジア人」と言いたいときは、**Asian** という単語を使います。**Many kinds of Asian food are popular in my country.**（私の国では多くのアジア料理が人気です）のように、形容詞として使うことができます。

42.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を上演する、演奏する」です。**perform** は、観客の前で劇を「演じたり」、音楽を「演奏したり」、ダンスを「披露したり」することを広く表す動詞です。**The students will perform a play at the school festival.**（生徒たちは文化祭で劇を上演します）のように使います。①「～を準備する」は **prepare**、②「～を描く」は **draw**、③「～を練習する」は **practice** です。

◆補足：**perform** の名詞形は **performance**（パフォーマンス）です。「上演、演奏、演技」といった意味で、こちらも日本語になっていますね。**Her performance was amazing.**（彼女の演技はすばらしかった）のように使います。動詞と名詞をセットで覚えるのが効率的です。

43.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を理解する、わかる」で動詞です。①「～を覚えている」は **remember**、②「～を信じる」は **believe**、③「～を想像する」は **imagine** がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：**understand** は不規則動詞で、**understand - understood - understood** と活用します。過去形と過去分詞形が同じ形です。I understood what he said. (私は彼が言ったことを理解した) のように、過去の話では **understood** を使うことを忘れないようにしましょう。

44.

解答 ④

【解説】

正解は④「実は、実際は」です。**in fact** は、前に述べたことについて、より詳しい情報や、時には意外な事実を付け加えるときに使う表現です。She said she was busy, but in fact, she had nothing to do.

(彼女は忙しいと言ったが、実は何もすることがなかった) のように使います。①は **for example**、②は **at last** や **finally**、③は **instead** がそれぞれ適切な表現です。

◆補足：**in fact** と似た表現に **actually** があります。どちらも「実は」と訳せますが、**in fact** は、前の発言を強調したり、訂正したりするニュアンスで使われることが多いです。

45.

解答 ③

【解説】

正解は③「homestay」です。「I did a homestay in Australia for two weeks.」(私はオーストラリアで2週間ホームステイをしました)。①は **homework**、②は **hometown**、④**home key** は単純な複合名詞です。

◆補足：滞在する家族は **host family** と呼ばれます。

46.

解答 ③

【解説】

正解は③の **flat** で、「平らな、平坦な」という意味の形容詞です。表面にでこぼこがなく、まっすぐな状態を表します。This table is not flat. (このテーブルは平らではありません) のように使います。他の選択肢は、①**wide** が「(幅が) 広い」、②**deep** が「深い」、④**thick** が「厚い」と、それぞれ物の違う特徴を表す言葉です。

◆補足：flat には、他にも「(タイヤが)パンクした」という意味があります。I had a flat tire on my way here. (ここに来る途中でタイヤがパンクした)。また、イギリス英語では、flat は「アパート」を意味する一般的な言葉です (アメリカ英語では apartment)。

47.

解答 ④

【解説】

正解は④「オリンピック大会」です。「Olympic Games」(または単に the Olympics) は、4 年ごとに異なる都市で開催される国際的なスポーツの祭典です。例えば、「The next Olympic Games will be held in...」(...で次のオリンピックが開催されます)。①「世界選手権」は world championship、③「ワールドカップ」は the World Cup です。

◆補足：「夏季オリンピック」は Summer Olympic Games、「冬季オリンピック」は Winter Olympic Games です。参加する選手は Olympians と呼ばれます。

48.

解答 ③

【解説】

正解は③の scared で、形容詞です。主語が人と動物のときに使います。I am scared of thunder. (私は雷が怖いです) のように使います。他の選択肢を見てみましょう。①scary は「恐ろしい、怖い」ですが、a scary story (怖い話) のように、恐怖の原因となるものを説明します。②sad は「悲しい」、④tired は「疲れた」という意味です。

◆補足：scared と scary の使い分けはとても大切です。He is scared. は「彼が怖がっている」ですが、He is scary. だと「彼は怖い人だ (人を怖がらせる人だ)」という意味になってしまいます。感情を表す -ed と、原因を表す -ing (例: surprised と surprising) の使い分けと同じパターンですね。

49.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を (車などに) 乗せてあげる」です。「My dad gave me a ride to the station.」(父が私を駅まで車で送ってくれた)。誰かに車をあげるという意味ではありません(①)。

◆補足：「Can you give me a ride home?」(家まで乗せていってくれませんか?) のように、乗せてもらうよう頼むこともできます。イギリス英語では lift が同義語として使われます。

50.

解答 ④

【解説】

正解は④「何百もの～」です。ここでのポイントは **hundred** が複数形であることです。例えば、

「There were **hundreds of people** at the concert.」(コンサートには何百人もの人々がいた)。①「100の～」は **one hundred...**となります。

◆補足：このパターンは他の数字でも使えます：**thousands of** (何千もの)、**millions of** (何百万もの)。
